

2016年1月21日

2017年度中の蒸気機関車（SL）復活運転を目指して

SL検修および乗務要員の養成を開始しました

～JR北海道、秩父鉄道、大井川鐵道に教育協力を要請～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2017年度中に鬼怒川線において蒸気機関車（SL）の復活運転を目指し、各種準備を進めていますが、このたび、JR北海道、秩父鉄道、大井川鐵道にSL検修および乗務要員教育のご協力をいただき、運行に必要な要員養成に着手しました。

SL復活運転にあたっては、SLの知識に長けた検修員および乗務員（機関士・機関助士）が不可欠であります。現在当社にはその技術・技能・免許を保有した社員がいないことから、その教育方法について検討してまいりました。このたび、当社のSL復活運転の目的である「鉄道産業文化遺産の復元・保存」と「栃木・福島エリアの支援活性化」の主旨にご賛同いただき、SLを従来から運行し、知識・経験ともに豊富なJR北海道、秩父鉄道、大井川鐵道にご協力いただけることとなりました。

復活運転実施時には当社社員による保守・運転を行えるよう、上記3社には2016年1月より当社社員を受け入れていただき、それぞれ必要な知識や技術・技能を習得するための教育訓練を行っていただいています。

当社では、引き続き2017年度中のSL復活運転を目指して各種準備を進め、その進捗につきましては、随時ニュースリリース等でお知らせしてまいります。

SL検修および乗務要員の養成開始についての概要は別紙のとおりです。

以上



△ SL乗務員養成の様子（イメージ）（写真：大井川鐵道提供）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

SL 検修および乗務要員の養成開始について

1 SL 検修員の養成について

- (1) 開始日 2016年1月20日(水) から
- (2) 人数 8名
- (3) 場所 北海道旅客鉄道 苗穂工場(北海道札幌市東区北5条東13丁目)
〃 釧路運輸車両所(北海道釧路市喜多町2番16号)
- (4) 内容 SLの全般検査、交番検査、仕業検査や付帯する整備作業等に関する教育

2 SL乗務員(機関士)の養成について

- (1) 開始日 2016年1月5日(火) から
- (2) 人数 4名
- (3) 場所 秩父鉄道 列車区(2名)(埼玉県熊谷市曙町1丁目91番地の1)
大井川鐵道 新金谷乗務区(2名)(静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2)
- (4) 内容 学科教育(SLの構造等)
技能教育(SLの取り扱い方等)

3 SL乗務員(機関助士)の養成について

- (1) 開始日 2016年1月7日(木) から
- (2) 人数 2名
- (3) 場所 北海道旅客鉄道 釧路運輸車両所(北海道釧路市喜多町2番16号)
- (4) 内容 学科教育(SLの構造等)
技能教育(投炭訓練・ボイラーの取り扱い方等)

以上